

宮城県パラリンピック聖火フェスティバルにおける

本市の採火について <市長コメント>

「宮城県パラリンピック聖火フェスティバルにおける本市の採火^{さいか}」についてお知らせいたします。

今月12日から16日までの5日間、東京2020パラリンピック聖火リレーのイベントの一つであります宮城県パラリンピック聖火フェスティバルが開催され、本市を含む県内9自治体が参加いたします。

宮城県パラリンピック聖火フェスティバルは、東京2020パラリンピック聖火の種火を各自治体が独自の方法で採取する「採火^{さいか}」及び各自治体が採火した種火を一つに集め、都内へ送り出す「集火・出立^{しゅうか しゅつたつ}」のプログラムで構成されております。

本市の採火は、今月15日に石巻市総合運動公園内の炬火台^{きょかだい}に点火した火を採取し、本市の東京2020パラリンピック聖火の種火として送り出します。

なお、点火に当たりましては、震災当時に被災地域から集めた木片により灯された、がんばろう石巻看板前^{ともしび}にある灯火を使用し、点火者は市内在住の若山^{わかやま} 崇^{たかし}さんが、盲導犬のトラヴィスとともに行います。

また、16日の「^{しゅうか}集火・^{しゅつたつ}出立」は、車いすバスケットボールチームである宮城マックスに所属する本市出身の^{いがらし}五十嵐 ^{ゆうや}雄也さんに本市の代表として登壇いただく予定です。

様々な人々がすべて分け隔てなく暮らしていくことのできる共生社会に対する思いを込めながら、東京2020パラリンピック聖火リレーのコンセプトであります「あなたは、きっと、誰かの光だ。」を体現できるよう取り組んでまいります。